

日立 ニ ュ ー ス

音声出力.....	1.5 W
使用電源.....	100 V 50/60 \sim (110 V 切替タップ付)
消費電力.....	120 W
スピーカ...6.5 in パーマネントダイナミック型 アンテナ入力インピーダンス.....	300 Ω 平衡型
寸法.....	幅 545 mm 高さ 365 mm (脚付 685 mm) 奥行 460 mm
重量.....	24 kg

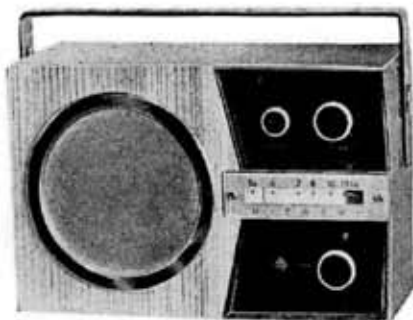
パワートランジスタ使用のTH-722型 トランジスタラジオ完成

このほど日立製作所からパワートランジスタを使用した、ハンディータイプの7石トランジスタラジオが発売された。このセットに使用されているパワートランジスタ「HJ 34」は電力増幅用に用いられているもので、従来の「HJ 17」に比して約3倍の高出力を得ることができ、したがって豊富な音量でしかもひずみのない美しい音色が得られるというものである。回路はトランジスタ7石とゲルマニウムダイオード1石、およびバリスタ2石を使用した7石スーパーヘテロダインで、スピーカは5 inのパーマネントダイナミック型を使用し、イヤホンはクリスタルイヤホンを2個使用することができる。またこのセットにはACアダプターを接続することによって電灯線からもきける2ウェイ電源方式が採用されている。キャビネットは、音響効果のすぐれたゼブラ材使用の高級木製キャビネットで斬新なデザインになっている。

価格は現金正価 17,500 円 (補助アンテナ、イヤホン1個付、電池別)

規 格

回路方式.....	7石スーパーヘテロダイン
受信周波数帯.....	535 \sim 1,605 kc
中間周波数.....	455 kc
使用トランジスタ.....	日立 HJ 23, HJ 22 \times 2, HJ 15, HJ 17, HJ 34 \times 2



第10図 TH-722型トランジスタラジオ

ゲルマニウムダイオード.....	日立 1N 34 A
バリスタ.....	日立 HV 12 \times 2
出力.....	300 mW
電源.....	9 V 自蔵電池 (単1号または特単 1号乾電池6個)または交流100 V (日立 AC アダプター-A-10 型使用)
スピーカ.....	5 in パーマネントダイナミック型
イヤホンソケット.....	2個 (E-231 型日立クリ スタルイヤホン使用)
アンテナ.....	フェライトアンテナ自蔵 吸着式補助アンテナ付属
寸法.....	幅 250 mm 高さ 160 mm 奥行 105 mm
重量.....	2.7 kg

小型2バンドラジオ S-522 型発売

このほど日立製作所からパーソナルタイプの2バンド5球スーパー S-522 型ラジオが発売された。

このセットは高性能日立mT真空管を使用したトランスレス回路で、小型ながらピックアップ端子とダイヤル照明ランプがついているほかにセット内部にはフェライトアンテナが組込まれており普通の放送をきく場合は、アンテナやアースを張る必要がなく、しかも外部雑音の少ない安定した受信ができる。短波の受信範囲は3.8 \sim 12 Mc で日本短波放送 (NSB) の3局はもちろんのこと、遠く海外からの短波放送も美しい音色で豊富に楽しめる高感度セットである。キャビネットは斬新なデザインの高級プラスチック製で、その色調にはアイボリー、グレー、うぐいす色、らくだ色の4色があり、それぞれ好みにあつた色調を選ぶことができる。

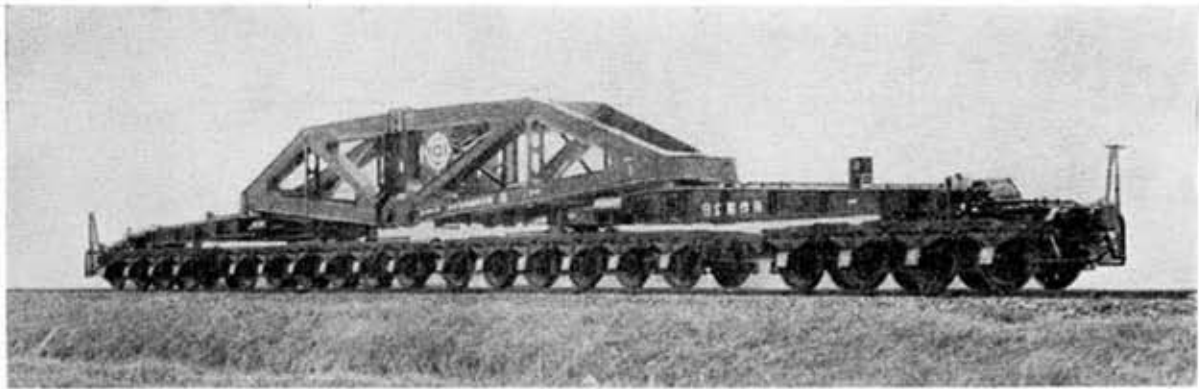
価格は現金正価 8,200 円である。

規 格

回路方式.....	2バンド5球スーパーヘテロダイン
受信周波数帯.....	BC 535 \sim 1,605 kc SW 3.8 \sim 12 Mc
中間周波数.....	455 kc
使用真空管.....	12B E6, 12B A6, 12A V6, 35C5, 35W4



第11図 2バンド5球スーパー型ラジオ S-522



第12図 シヤ300型分割式大物車

訂正：本誌第40巻第3号P.126に掲載のシヤ300型分割式大物車の写真は誤りで上記写真が正しいものであります。ここに訂正致します。

感 度.....極 微 電 界 級
 BC 60 μ V/50 mW
 SW 80 μ V/50 mW
 電氣的出力.....1 W
 使用電源.....100V 50/60 \sim
 消費電力.....25 VA
 スピーカ.....日立5in パーマネントダイナミック型

イヤホンソケット.....2個 (E-231型 日立タリ
 スタイルイヤホン使用)
 アンテナ.....フェライトアンテナ自蔵
 長さ3m室内アンテナ線付属
 寸 法...幅336mm 高さ158mm 奥行138mm
 重 量.....2.2kg

編集後記

3月9日に開通式を行つた関門トンネルは延長3,460mにおよぶ世界第3位の自動車トンネルであるが、このように長い自動車トンネルでは、自動車の吐出する排気ガスを処理するための、強力な換気装置が必要である。関門トンネルの場合は40HPプロペラファン24台を設置して、2,000台/時の頻度で通過する内燃車の出すCOを除去し、空気中のCOを常時危険値以下に押えることができるように設計されている。
 しかしながら通過する自動車の台数は、時間的にたえず変動するので、総計1,000HPに近い電動機を四六時中全力運転することは、非常な不経済であるばかりでなく、換気装置の寿命の点からみても、はなはだ望ましくない状態といわなければならない。そこでこの換気装置には空気中に含まれるCOの濃度を検出し、その濃度

に応じて送風機の運転を自動的に変更して、CO量の定値制御を行う装置がとりつけられた。
 本号の巻頭を飾る2篇の論文は、世界でも類をみないといわれるこの独創的な換気装置、およびその自動制御装置の内容を明らかにしたものである。現在各種の道路計画の進展に伴つて、各所で自動車トンネルが計画されている時にあたり、この2篇の論文が果す役割はすこぶる大きいものがあるといわなければならない。

一家一言には、運輸省技術研究所中田所長の玉稿をいただくことができた。中田所長は、御外遊前の御多忙な時間をさいて、特に本誌のために玉稿を賜つたその御好意は真に感謝にたえない。誌上を借りて厚く御礼申上げる次第である。

日立評論 第40巻 第4号

昭和33年4月20日印刷 昭和33年4月25日発行

(毎月1回25日発行)

< 禁 無 断 転 載 >

定価 1部 100円 (送料12円)

© 1958 by Hitachi Hyoronsha

編集兼発行人
 印刷人
 印刷所
 発行所

鈴 木 万 吉
 本 間 博
 株式会社日立印刷所
 日立評論社
 東京都千代田区丸ノ内1丁目4番地
 電話 千代田 (27) 0111, 0211, 0311
 振替口座 東京 71824番

取次店

株式会社 オーム社書店
 東京都千代田区神田錦町3丁目1番地
 振替口座 東京 20018番

広告取扱店 広 和 堂 東京都中央区新富町2丁目16番地 電話 築地 (55) 9028番